

えんしんぶんり



Contents

天神ラボラトリーのご案内、お願いします!【よかドック申込書兼問診票等の記入漏れ】/① 福岡市医師会臨床検査センターホームページのご紹介/② 一般細菌検査での喀痰は膿性痰での提出を/③ 細菌検査統計報告、ちょっとひと言/④

天神ラボラトリーのご案内

福岡市医師会臨床検査センター天神ラボラトリーは、福岡市中央区舞鶴に2019年3月に開設しました。複数回の検体集荷およびスピーディーな結果報告を目的に、健康診断に必要な項目・迅速検査項目を中心とした検査を行うコンパクトな検査室です。検査項目は生化学・血液一般・尿一般・尿沈渣・便中ヒトヘモグロビン検査を実施しています。

天神ラボは日祝日も検査をしています

至急検体回収は、平日・土曜・日祝日(年末年始は除く)の9時～14時まで行っています。日祝日にも至急対応を行っており、天神ラボに検体到着後60分以内に結果をご報告しています。



生化学自動分析装置 BM9130



自動血球分析装置 XN1500

天神ラボのご利用は登録制となっていますので、ご利用希望の際は営業担当までご連絡ください。

お願いします!

【よかドック申込書兼問診票等の記入漏れ】

②飲酒日の1日当たりの飲酒量
 日本酒1合(アルコール度数15度・180ml)の目安:ビール(同5度・500ml)、焼酎(同25度・約110ml)、ワイン(同14度・約180ml)、ウイスキー(同43度・約60ml)、缶チューハイ(同5度・約500ml、同7度・約350ml)

1合未満 1～2合未満 2～3合未満 3～5合未満 5合以上

16 睡眠で休養が十分とれていますか はい いいえ

17 運動や食生活等の生活習慣の改善をしてみようと思いませんか

改善するつもりはない 改善するつもりである(概ね6カ月以内)

近いうちに(概ね1カ月以内)改善するつもりであり、少しずつ始めている

既に改善に取り組んでいる(6カ月未満) 既に改善に取り組んでいる(6カ月以上)

※飲酒の問診、直ぐ下「16. 睡眠」の未回答が多い傾向です。ご提出される前にご確認のほどよろしくお願いたします。

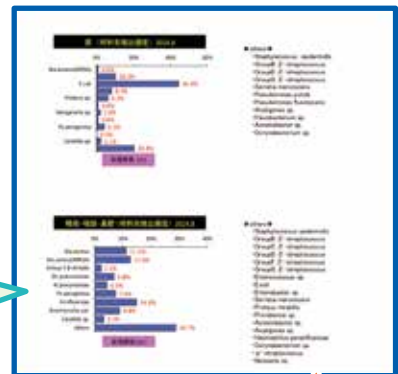
福岡市医師会臨床検査センター ホームページのご紹介

当検査センターのホームページをご活用いただいていますか？
今回は、掲載内容についてご紹介させていただきます。



新規実施項目や受託中止、内容変更などの詳細な情報やお盆・年末年始の受託不可項目のお知らせなど

細菌検出頻度(材料別グラフ)や薬剤感受性情報、薬剤耐性菌検出情報など



台風や大雪などの災害時は集荷状況などをお知らせします

当センターおすすめの項目を中心に詳しくご紹介



検査依頼や結果参照をWeb上で行うソフトのご紹介

2001年1月の創刊号より最新号までご覧いただけます



福岡市医師会臨床検査センターホームページは下記アドレスにてご覧ください。
アドレス: <https://www.city.fukuoka.med.or.jp/kensa/kensa.html>

右記2次元バーコードをスマートフォンで読み取り、ブックマークやホーム画面に追加すると便利です。



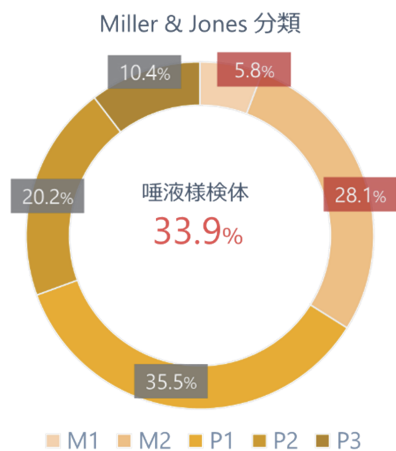
一般細菌検査での喀痰は 膿性痰での提出を

微生物検査室ではDiagnostic stewardship【診断支援】に努めてまいります。

今回は一般細菌検査における喀痰の品質評価について紹介いたします。喀痰は、口腔内常在菌による汚染を生じやすい検体です。そのため、喀痰の検体品質が検査結果に大きく影響します。

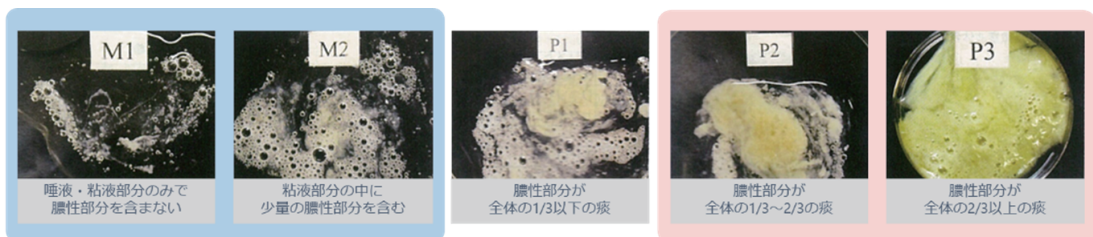
当検査センターにおけるMiller & Jones分類でみた提出状況

現在、喀痰材料の肉眼的品質評価の指標として、Miller & Jones分類を報告しています。2024年10月に当検査センターに提出された喀痰材料の品質状況を示します。P1が最も多く、膿性痰(P2・P3)は30.6%、唾液様検体(M1・M2)は33.9%という状況でした。唾液様検体での検査では、口腔内常在菌が多数含まれるため、起炎菌の検索が難しくなる可能性があります。



口腔内常在菌のみでの結果報告状況

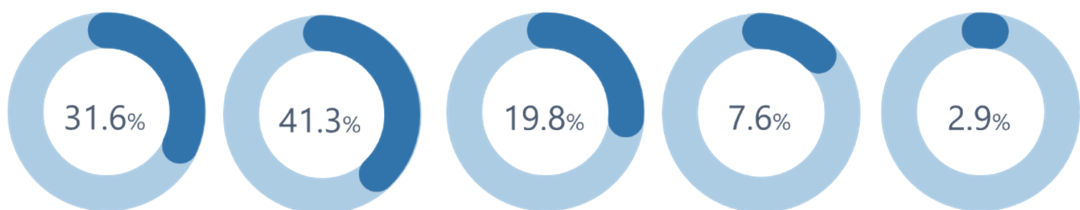
口腔内常在菌のみを報告した喀痰材料をMiller & Jones分類別に集計しました。口腔内常在菌のみでの報告比率は唾液様検体(M1・M2)では高く、膿性痰(P2・P3)では低く10%未満となっています。



唾液様検体のため、口腔内常在菌が多く起炎菌検索が難しい可能性があります

検査に適している検体 | 膿性痰

口腔内常在菌のみでの報告状況 (2024年10月)



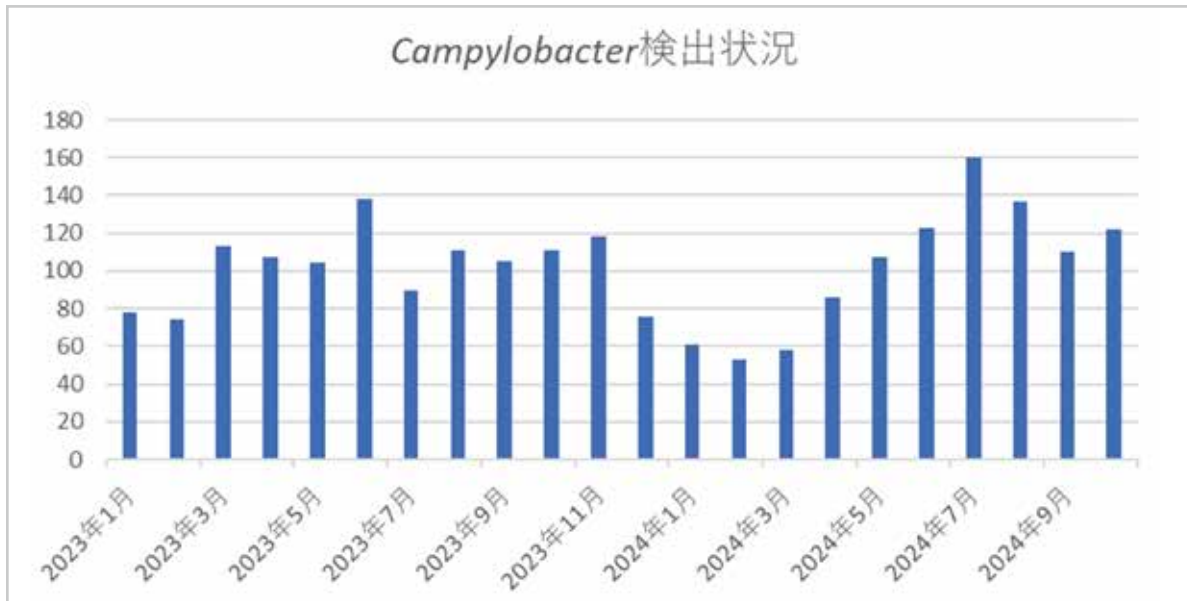
喀痰を採取する際には、喀痰の外観的性状を確認し唾液様検体であるとき、膿性痰が喀出できる可能性がある場合は再採取を行い、膿性痰での検体提出をおすすめいたします。

細菌検査統計報告 (*Campylobacter* 検出状況)

当検査センターで受託した細菌検査における細菌検出状況を一部取り上げてご報告いたします。その他の検査材料の細菌検出状況、薬剤感受性情報、薬剤耐性菌検出状況、腸管病原菌検出状況は、当検査センターホームページに掲載しています。

<https://www.city.fukuoka.med.or.jp/kensa/kensa.html>

2023年1月～2024年10月に当センターから検出された*Campylobacter*の検出状況およびCAM・FOM・LVFXの3薬剤の薬剤感受性情報を下記に示します。



キノロン系抗菌薬であるLVFXの感受性率は56.1%であり、耐性化傾向にあります。CAMとFOMの薬剤感受性率は高く良好な結果となっていますが、ごく稀に耐性株が検出されています。必要に応じて薬剤感受性試験をお勧めいたします。

	S	I	R
CAM	97.9%	0.4%	1.8%
FOM	95.7%	2.8%	1.6%
LVFX	56.1%	18.9%	25.0%

※「小数点第二位四捨五入」

ちよっとひと言

「愛犬とドッグラン」 愛犬の名前は「まる」。ミニチュアシュナウザーの2歳の女の子です。名前の由来は、丸い眉毛があるので平安時代の磨から名付けました。生後8か月頃からドッグランに連れて行って、散歩の途中で「ドッグランに行く?」と言うと、遠くにいてもダッシュで自宅の駐車場まで走って帰って行きます。何故かという、一番人気のレオくん(チワワ)に会えるからです。ドッグラン初日からレオくんにはゾッコンで、猛アタックしていました。他の子もレオくんが大好きなので争奪戦が毎回始まります。

現在は、まるの思いが通じたのかレオくんと相思相愛になり毎回2匹の世界って感じで遊んでいるのでレオくんの飼い主さんと連絡を取り合って時間を合わせて連れて行っています。たまに他の子とレオくんが遊んでいて中に入れないと私の所に来て「レオくん浮気している」って顔で訴えてくるので、「みんなのレオくんだから独り占めしちゃダメだよ」って言い聞かせています(笑)。同じ時間帯に来る飼い主さん達も良い方ばかりなので私もまるも楽しんでます。

まる、これからも走って運動してレオくんに嫌われないようにポッチャリ犬克服しようね。



営業管理係 松藤 弘恵

福岡市医師会臨床検査センター

〒814-0001 福岡市早良区百道浜一丁目6番9号

TEL 092-852-1506 FAX 092-852-1511

<https://www.city.fukuoka.med.or.jp/kensa/kensa.html>

E-mail : fma@city.fukuoka.med.or.jp

編集委員 田川 恭平 東田 和子 杉本 清美 田中 進一 高下 誠司 井手 明宏